

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	視覚障害者用図書事業等			担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部			作成責任者	
事業開始年度	昭和29年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画課自立支援振興室			田仲 教泰	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	障害者基本計画、重点施策実施5ヶ年計画、平成26年3月20日発障0320第3号及び4号視覚障害者用図書事業等委託費の交付について(通知)、平成20年3月31日障発第0331039号視覚障害者用図書の貸出等について				
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	視覚障害者等の福祉向上を図る為、視覚障害者用図書の制作・貸出、盲人用具の販売あつ旋、視覚障害生活訓練指導員研修、全国盲人生活相談、視覚障害者行政情報等提供、全国身体障害者福祉センター運営事業を行い、もって視覚障害者等の自立と社会参加・福祉の促進に資することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	実施主体である団体(6団体)が行う視覚障害者用図書事業、盲人用具あつ旋事業、視覚障害者行政情報等提供事業等を行うのに要する費用に対し、委託費を交付している。 ・視覚障害者用図書事業→視覚障害者用図書の制作、貸し出しを行う。 ・盲人用具あつ旋事業→低廉な価格で盲人用具のあつ旋を行う。 ・視覚障害者行政情報等提供事業→国内外の障害保健福祉関連情報等を、点字や音声の広報誌等により提供する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	323	296	291	265	520		
		補正予算	1	1	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	1	-			
	計		324	297	292	265	520		
	執行額		324	297	291				
執行率 (%)		100%	100%	100%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		100%	100%	100%					
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	身体障害者福祉促進 事業委託費	265	259	「新しい日本のための優先課題推進枠」239 日本点字図書館(国有財産)の建物の維持管理のため外壁等の各所修繕工事を実施する等による増。(推進枠)					
	点字図書館施設整備費	-	235						
	各所修繕	-	26						
	計	265	520						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
図書(点字図書及び録音図書)の貸出数(のべ数)	図書(点字図書及び録音図書)の貸出数(のべ数)	成果実績	タイトル	14,883	14,614	14,063	-	-	
		目標値	タイトル	13,401	14,883	14,883	-	14,883	
		達成度	%	111.1	98.2	94.4	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	H26・27・28年度視覚障害者用図書事業等委託費に係る実績報告について								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	視覚障害者のための行政 情報誌の発行部数	視覚障害者のための行政 情報誌の発行部数	成果実績	部	150,600	150,600	150,600	-	-
			目標値	部	165,000	150,600	150,600	-	150,600
達成度			%	91.3	100	100	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	平成26・27・28年度視覚障害者用図書事業等委託費に係る事業実績報告について								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	研修会の定員数	全国障害者総合福祉セン ターの研修会の出席者数	成果実績	人	672	519	505	-	-
			目標値	人	700	700	700	-	700
達成度			%	96	74	72	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	平成26・27・28年度視覚障害者用図書事業等委託費に係る事業実績報告について								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	図書(点字図書及び録音図書)の製作数	活動実績	タイトル	139	152	142	-	-		
当初見込み		タイトル	130	130	130	130				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	視覚障害者のための行政情報誌の発行回数	活動実績	回	16	16	16	-	-		
当初見込み		回	16	16	16	16				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	全国障害者総合福祉センターの研修会の回数	活動実績	回	12	11	11	-	-		
当初見込み		回	12	12	11	11				
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	618,437(円/タイトル) 単位当たりコストX/Y X:視覚障害者用図書事業実績額(28年度) Y:製作したタイトル数(28年度)		単位当たりコスト	円	963,417	849,341	618,437	567,146		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	227(円/部) 単位当たりコスト X/Y X:視覚障害者行政情報等提供事業実績額(28年度) Y:発行した部数(28年度)		単位当たりコスト	円	245	241	227	208		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	280,607(円/回) 単位当たりコスト X/Y X:研修会に係る実績額(28年度) Y:研修会の回数(28年度)		単位当たりコスト	円	384,917	360,840	280,607	328,642		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	227(円/部) 単位当たりコスト X/Y X:視覚障害者行政情報等提供事業実績額(28年度) Y:発行した部数(28年度)		単位当たりコスト	円	245	241	227	208		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	280,607(円/回) 単位当たりコスト X/Y X:研修会に係る実績額(28年度) Y:研修会の回数(28年度)		単位当たりコスト	円	384,917	360,840	280,607	328,642		
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	必要な保健福祉サービスが的確に提供される体制を整備し、障害者の地域における生活を総合的に支援すること								
	施策	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を総合的に支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること								
政策評価	測定指標	定量的指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度
		-		実績値	-	-	-	-	-	-
政策評価	測定指標	定性的指標		目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
		-		-	-	施策の進捗状況(実績)				
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
実施主体である団体(6団体)が行う視覚障害者用図書事業、盲人用具販売あつ旋事業、視覚障害者行政情報等提供事業等を行うのに要する費用に対し、委託費を交付している。 視覚障害者用図書事業等を実施することにより、視覚障害者用図書(点字図書、録音図書)の製作をデジタルデータ化するとともに、視覚障害者のニーズを踏まえた媒体(紙、CD等)で貸出を行うことなどにより、視覚障害者・児の知識、教養、学習等の向上を図り、自立や社会参加の促進に資すると見込んでいる。										
アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
アクション・プログラムとの関係	(第一階層) KPI	成果実績		-	-	-	-	-	-	
		目標値		-	-	-	-	-	-	
アクション・プログラムとの関係	(第一階層) KPI	達成度		%	-	-	-	-	-	
		KPI (第二階層)			単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
アクション・プログラムとの関係	(第二階層) KPI	成果実績		-	-	-	-	-	-	
		目標値		-	-	-	-	-	-	
アクション・プログラムとの関係	(第二階層) KPI	達成度		%	-	-	-	-	-	
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係								
-										

事業所管部局による点検・改善

			項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性			事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	点字図書及び録音図書は視覚障害者が情報入手のために必要であり、視覚障害者のニーズも踏まえ製作されている。
			地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	障害者基本法第22条において、「国は、障害者が円滑に情報を取得し及び利用し、その意思を表示し、並びに他人との意思疎通を図ることができるようにするため、必要な施策を講じなければならない。」とされているから、国で実施すべき事業である。
			政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	点字及び音声による広報誌等を製作、配布等を行うことによって、視覚障害者が自身で必要とする情報を入手できることから、視覚障害者の自立や社会参加の促進において重要な役割を果たしている。
事業の効率性			競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	事業の内容を完遂するために必要な技術力や設備を備えており、事業の適正な実施を行うことができる団体を選定し委託している。 なお、一者入札となったことについては、関係団体により幅広く周知依頼を行うことや周知期間を長く設けるなどの対応をしてもらい、今後は一者入札とならないよう改善に努める。
		一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
		競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
			受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
			単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	事業実績額に見合う活動成果をあげている。また、総事業費に比して委託費の予算額は過小に評価されているため、これ以上の削減は困難である。
			資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	適切に委託先が選定され、システム改修経費などに支出されている。
			費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	点字図書や録音図書等を製作するのに必要な経費のみが計上され、外部委員による協議の場を設けるなど、適切に事業が実施されている。
			不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
		繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
		その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業に使用している複合機の業者を一本化するなど、パフォーマンスチャージ費用の単価を削減するなどコスト削減に努めている。	
事業の有効性			成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	適正に事業が実施され、成果目標に見合った成果実績が上げられている。
			事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	適切な委託先への事業の委託により、障害者の情報の利用におけるバリアフリー化等の促進に寄与している。
			活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	委託先団体において、当初の事業計画に沿って事業活動が実施されている。
			整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	製作された点字図書及び録音図書は点字図書館に貸し出され、視覚障害者の知識・教養・学習等の向上に寄与している。
関連事業			関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	当該事業は、視覚障害者の福祉の向上を目的とし、点字図書等の作成・貸出等を実施している。 【737】聴覚障害者の福祉の向上を目的とし、手話通訳技術向上等研修等を実施している。 【739】障害者が必要とする情報をインターネット等を活用して提供する各種ネットワークの運営事業等を実施している。 【742】点字図書館及び聴覚障害者情報提供施設の運営を実施している。
	所管府省名	事業番号	事業名		
	厚生労働省	0737	手話通訳者技術向上等研修等		
	厚生労働省	0739	高度情報通信福祉事業		
	厚生労働省	0742	社会参加支援施設事務費		

点検・改善結果	点検結果	<p>○委託先の各団体において、委託内容に沿った事業実績をあげ、事業の目的を果たしている。</p> <p>【視覚障害者用図書事業】委託先：日本点字図書館  (委託内容)点字図書制作35タイトル以上、録音図書制作20タイトル以上(27年度実績)点字図書制作35タイトル、録音図書制作20タイトル</p> <p>【盲人用具あつ旋事業】委託先：日本盲人会連合  視覚障害者が低廉な価格で盲人用具を入手できるように、そのあつ旋を行い視覚障害者の生活の安定に寄与することを目的としており、27年度においても一定割合以上の減額を行ったうえで視覚障害者への盲人用具の販売を行うことによってその目的を果たした。</p> <p>【視覚障害者行政情報等提供事業】委託先：日本盲人会連合  (委託内容)障害保健福祉関連情報等を点字、音声で発行(8回)(27年度実績)発行状況 点字8回、音声8回</p> <p>【全国障害者総合福祉センター運営事業】委託先：日本障害者リハビリテーションセンター協会  身体障害者に係る各種の相談に応じ、身体障害者福祉センターの職員等関係者の養成・研修等を行い、もって身体障害者の自立更生と福祉の増進を図ることを目的としており、27年度においても各種相談、研修会等の開催することによってその目的を果たした。</p> <p>○平成25年度から29年度までの概ね5年間を対象とする「障害者基本計画(第3次)」において、「障害者が円滑に情報を取得・利用し、意思表示やコミュニケーションを行うことが出来るように、情報通信における情報アクセシビリティの向上、情報提供の充実、コミュニケーション支援の充実等、情報の利用におけるアクセシビリティの向上を推進する。」と掲げられており、当該事業は前述の指針に則した事業である。</p> <p>○障害者基本法第22条において「国は、障害者が円滑に情報を取得し及び利用し、その意思を表示し、並びに他人との意思疎通を図ることが出来るようにするため、必要な施策を講じなければならない。」とされており、当該目的が達成できる団体に事業を委託しているところ。</p>			
	改善の方向性	<p>○当該委託費は、毎年度事業実施団体ごとに交付決定・交付額の確定を行っており、事業計画及び事業実績について確認しているところ。現在まで各事業ともに適正に執行されており、障害者の情報の利用におけるバリアフリー化等の促進について事業実績額に見合う活動成果をあげているものであり、引き続き適正な事業の実施に努めることとする。</p> <p>○平成29年度のアウトカムを見ても、目標に見合った実績が上げられており、引き続き適切に予算を執行し、事業の目標が達成できるよう努めていく。</p>			
<b>外部有識者の所見</b>					
点検対象外					
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>					
通現り状	引き続き必要な予算額を確保した上で、適正な執行に努めること。				
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>					
通現り状	-				
<b>備考</b>					
-					
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>					
平成22年度	503	平成23年度	456	平成24年度	399
平成25年度	758	平成26年度	756	平成27年度	772
平成28年度	739				

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

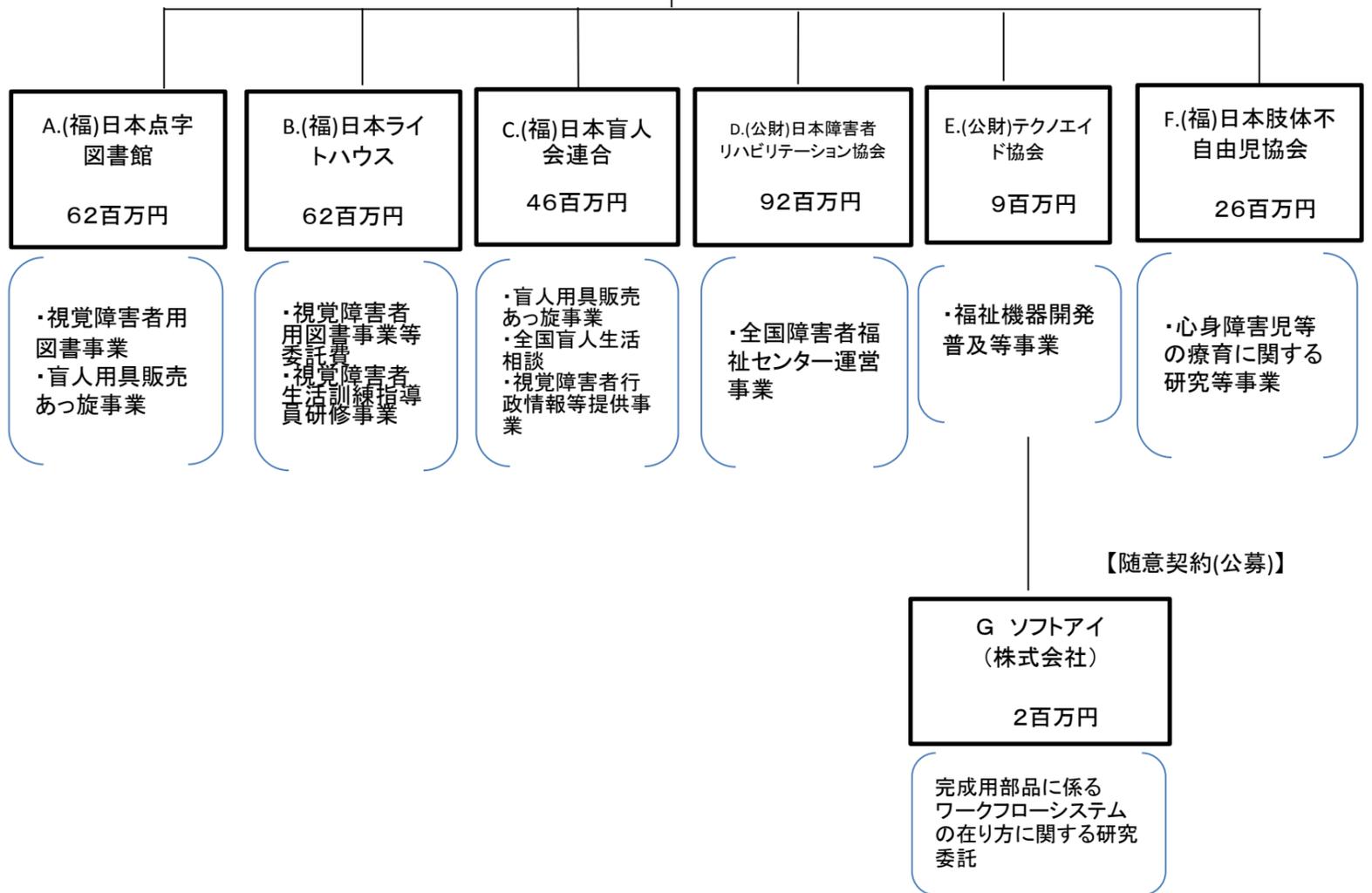
(27年度実績)

※28年度は集計中のため、27年度実績を記載。

厚生労働省  
297百万円

視覚障害者の福祉向上を図るため、視覚障害者用図書事業に要する経費を補助。

【補助(委託)】



【随意契約(公募)】

G ソフトアイ  
(株式会社)  
2百万円

完成用部品に係る  
ワークフローシステム  
の在り方に関する研究  
委託

(注)計数は各欄で端数処理(四捨五入)している。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・用途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.(福)日本点字図書館			B.(福)日本ライトハウス		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
俸給、諸手当	職員人件費	32	俸給、諸手当	職員人件費	40
賃金	賃金職員	13	諸謝金	選任実技講師等	18
建物維持費	補修工事、各所修繕費	10	印刷製本費	視覚障害者等図書の印刷等	2
印刷製本費	視覚障害者等図書の印刷等	4	雑役務費	電話代金、切手代等	2
通信運搬費	切手代、送料、電話代金等	2			
雑役務費	点字プリンタ保守点検費等	1			
計		62	計		62
C.(福)日本盲人会連合			D.(公財)日本障害者リハビリテーション協会		
費目	用途	金額(百万円)	費目	用途	金額(百万円)
俸給、諸手当	職員人件費	20	俸給、諸手当	職員人件費	39
賃金	賃金職員	8	雑役務費	環境衛生設備費等	28
印刷製本費	点字版作成費等	8	光熱水料	電気、ガス、水道等	18
雑役務費	カタログ作成費等	8	建物維持費	高圧受電設備蓄電池交換工事等	3
通信運搬費	電話、切手代等	2	諸謝金	講師料等	2
			旅費	講師旅費等	1
			印刷製本費	情報誌印刷等	1
計		46	計		92

E.(公財)テクノエイド協会			F.(福)日本肢体不自由児協会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
俸給、諸手当	職員人件費	6	職員基本給	職員人件費	10
委託費	福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの構築	2	職員諸手当	児童手当等、	8
その他	印刷製本費、通信運搬費等	1	維持管理費	通信運搬費、印刷製本等	3
			社会保険料	保険料等	2
			諸謝金	講師礼金等	2
			賃金	賃金職員	1
計		9	計		26
G.(株)ソフトアイ			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
保守料	福祉用具ニーズ情報収集・提供システムの構築	2			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(福)日本点字図書館	9011105000974	視覚障害者用図書事業 盲人用具販売あつ旋事業	62	補助金等交付	-	--	

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(福)日本ライトハウス	2120005002465	視覚障害者用図書事業 視覚障害者生活訓練指導員研修事業	62	補助金等交付	-	--	

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(福)日本盲人会連合	2011105000964	盲人用具販売あつ旋 全国盲人生活相談 視覚障害者行政情報等提供事業	46	補助金等交付	-	--	

D

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(公財)日本障害者リハビリテーション協会	1011105004999	全国障害者福祉センター 運営事業	92	補助金等交付	-	--	

E

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(福)テクノエイド協会	9011105004959	福祉機器開発普及等事業	9	補助金等交付	-	--	

